

地元民がつくるオリジナルのロードバイクコースの提案 ～誰でも楽しめるコースを目指して～

山形県立遊佐高等学校
2年

はじめに

令和7年3月にロードバイクという競技に出会い、ロードバイクに乗って自然を肌で感じる点に楽しさを感じた。また練習をしたり、大会に出たりするなどの活動を通して、初対面の人とも共通の話題で交流が深まり、仲間づくりのきっかけにもなった。このような楽しい競技をもっと多くの人に知ってもらおうとともに、ロードバイクを活用した町づくりができればと思い、探究活動を行った。

仮説

遊佐町にある観光資源(藤井ひまわり畑、丸池様、湧き水)を活用してロードバイクコースを作ってみたら、遊佐町を訪れる人が増えて、遊佐町が盛り上がるのではないかと。

方法

A. 遊佐町を舞台にしたロードバイクコースを作る

1. 日本の有名なロードバイクコースを調べる。
(しまなみ海道サイクリングロード、琵琶湖一周サイクリングロード、とかぶち400、太平洋自転車道)
2. 調べたコースを参考にして遊佐町のロードバイクコースを作る。(図1)
使用したアプリ: Strava
3. 作ったコースを実際に友人と試走する。
4. 見つかった課題を修正して再度コースを作成する。(図2)
5. 試走する。

B. 実際に作られているコースを走ってみる

1. 秋田県にかほ市のモデルコースを調査、試走。
2. 庄内を舞台にしたロードバイクのイベント
⇒「じろで庄内」に2025年9月28日(日)に参加。



結果

A-1: モデルコースの調査結果

・しまなみ海道サイクリングロード
特徴: 車道と分離された自転車歩行者道が整備され、道案内の青いラインがある。日本唯一の海峡を渡るサイクリングロード。
【参考にしたポイント】: 安全性、オリジナリティ、道のわかりやすさ

・琵琶湖一周サイクリングロード(通称:ビワイチ)
特長: 約200キロの日本最大の湖を自転車でする人気サイクリングロード。
【参考にしたポイント】: 観光名所をコースに取り入れる

・とかぶち400、太平洋自転車道
特長: 2つはナショナルサイクリングロード。
【参考にしたポイント】: 認定が取れるようなコース作り

参考文献

1. SimanamiJapan(2024)「しまなみ海道サイクリングコース」<https://shimanami-cycle.or.jp/cycling/>(2025年7月12日取得)
2. ビワイチ「琵琶湖一周サイクリングロード」<https://www.biwako1.jp/basic/plan>(2025年7月12日取得)
3. トカプチ400「トカプチ400」<https://www.ctjguide.com/>(2025年7月29日取得)
4. 国土交通省近畿地方整備局「太平洋岸自転車道」<https://www.kkr.mlit.go.jp/road/pcr/index.html>(2025年7月29日取得)
5. Strava「Strava」<https://ridewithgps.com/>(2025年8月3日取得)

A-2,3,4,5 実際に作ったコース

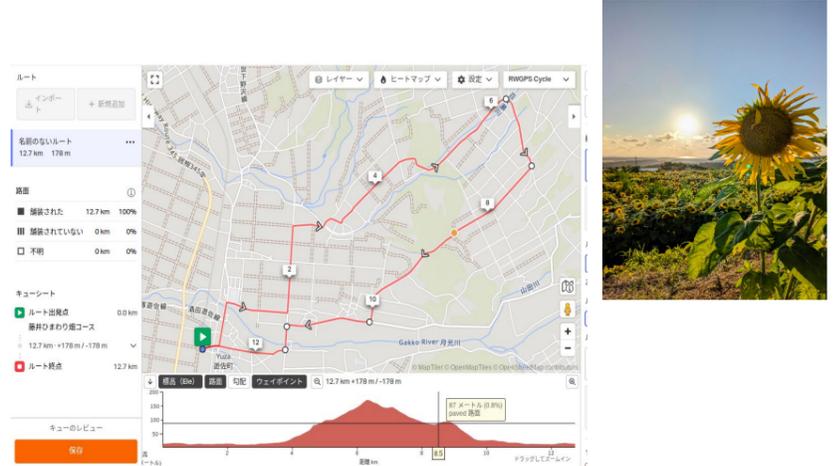


図1: 藤井ひまわり畑コース

試走してみても見つかった課題

- ・傾斜がきつく、長かった。
- ・コースの途中に休憩する場所が1か所のみ。
⇒初心者ではなく上級者向けのコース

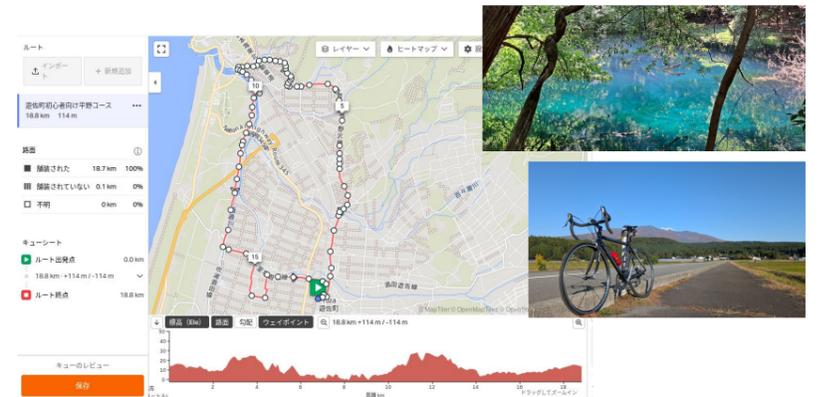


図2: 遊佐町初心者向け平野コース

修正したこと

- ①コースに写真や休憩のスポットを10か所に増やす。
- ②激坂を避けて平坦基調の編成。

考察

「誰でも走れるコース」の条件

- ①安全性 ②オリジナリティ ③道のわかりやすさ ④休憩所がコースにある ⑤坂が少ない

「楽しめるコース」の条件

- ①観光名所やフォトスポットがコースにある ②自然を感じることができる ③一緒に走る人がいる ④他のライダーとの偶然の出会いがある ⑤飲食できる

遊佐町は同じコースでも季節ごとに見れる景色が違うことが分かった。

課題

- ・遊佐町を訪れた人は1人増えたが検証とは言えない。
- ・ロードバイクコースを作ったが、広報活動ができなかった。
- ・ロードバイクコースをただ作るのではなく、コースを観光産業などにつなげることに取り組みたい。
- ・ロードバイクを愛する人たちが遊佐町に少ないのは「遊佐町に来やすい仕組み」(サイクルトレイン)と「ロードバイクのレース」がないからだ分かった。